

令和2年度 公益財団法人宮崎県国際交流協会事業実績報告書

本協会の事業計画に基づき、県民の参加による国際交流の推進、国際交流に関する情報の提供、外国人住民の支援及び国際化推進のための事業等を次のとおり実施した。

1 交流推進事業

① 国際交流サロン

カリーノ宮崎の会議室等を活用して、県民と外国人が気軽に交流できる場を提供した。

<国際ふれあいチャット>

県民と外国人が外国語で歓談する交流会を開催した。

場所：カリーノ宮崎地下1階

英語（初級）

前期 5/30 ～ 9/19（隔週土曜） 全6回、延べ 27名参加

後期 10/10 ～ 12/19（隔週土曜） 全5回、延べ 30名参加

英語（中・上級）

前期 6/ 6 ～ 9/12（隔週土曜） 全6回、延べ 65名参加

後期 10/13 ～ 12/12（隔週土曜） 全5回、延べ 49名参加

韓国語

前期 5/28 ～ 7/2（隔週木曜） 全6回、延べ 72名参加

後期 9/24 ～ 12/3（隔週木曜） 全6回、延べ 61名参加

中国語

前期 5/26 ～ 6/30（火曜） 全6回、延べ 48名参加

後期 10/13 ～ 11/24（火曜） 全6回、延べ 42名参加

<日本伝統文化体験講座（外国人向け講座）>

「茶道in古民家」 開催日：7/25（土）8名参加

場 所：宮崎県総合博物館民家園

② 国際交流ボランティア養成・運営

通訳、文化紹介、ホストファミリー、日本語ボランティアの4つの分野でボランティア登録を行い、ボランティア登録者の活動を促進するとともに、新たに外国人災害サポートボランティアの登録を始めた。

<日本語学習支援者向け講座>

外国人の日本語学習の支援者を対象に、能力向上を目的とした講座を開催した。

・宮崎市

開催日：7/4～8/29（全8回 ※各回3コマ）延べ94名参加

場 所：カリーノ宮崎地下1階会議室

・日南市

開催日：9/5～10/31（全8回 ※各回3コマ）延べ54名参加

場 所：日南市生涯学習センター まなびピア

・日向市

開催日：11/7～12/26（全8回 ※各回3コマ）延べ122名参加

場 所：日向市文化交流センター・日向市中央公民館

・三股町

開催日：12/9～2/27（全8回 ※各回3コマ）延べ62名参加

場 所：三股町まち・ひと・しごと情報交流センター ～あつまい～
オンライン（第3～8回）

<日本語学習支援者のための講演会>

開催日 2/6（土）

場 所 オンライン

内 容 地域日本語教室で日本語学習支援を行っている人や外国人学習者などの声を聞き、本県における地域日本語教室の取組みについてセミナーを開催した。（参加者28名）

③ 国際交流展示

外国人住民が作成した絵画や写真等の展示や、外国人住民と日本人住民が交流するイベントを行った。

（来場者数 334名）

<「外国人が見た宮崎」作品展>

開催日：11/18（水）～12/5（土）

場 所：カリーノ宮崎地下1階

内 容：本県に住む外国人の方々が感じた宮崎の印象・想いを絵画・写真・書道などで表現した作品を集めた展示会を開催した。

（作品数：55点、18カ国地域）

<世界とトモダチ みやざき国際ミニフェスタ>

開催日：11/28（土）

場 所：カリーノ宮崎地下1階

- 内 容：
- ・国際理解ミニ講座（3カ国）
 - ・「写真でみる国際交流協会の歩み」
 - ・宮崎ブラジル親善協会ブース
 - ・世界の民族衣装の展示ブース（5カ国）
 - ・JICAブース

2 情報提供事業

① インターネット・広報紙等による情報提供

情報誌「国際プラザニュース」発行 毎月（4,000部／1回）
（日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語）

協会誌「South Wind」発行 年2回（2,700部／1回）

協会ホームページによる情報提供等

協会ホームページへのアクセス件数（23,429件）

外国語による生活情報提供

「Living in Miyazaki（宮崎の暮らし）」を英語で宮崎日日新聞に月1回、
季節ごとに身近な話題をとりあげて掲載。

（例）国際プラザの紹介、運転免許の切り替え、地震、インフルエンザ など

② ワーキングホリデー説明会

ワーキングホリデーに関する手続きや体験談を交えた説明会を開催した。

開催日：8/1(土) (3名参加)

場 所：カリーノ宮崎地下1階 サポートセンター交流スペース

③ 国際プラザ運営事業

国際プラザにおいて、県民ボランティアを活用しながら、外国人や県民に各種生活情報の提供、専門機関の紹介、図書の貸出等を行った。

《令和2年度国際交流協会利用者実績》

7,481人（うち外国人 2,025人）

《国際プラザ利用者数》

3,997人（うち外国人 1,344人）

《図書貸し出し数》

327件（うち外国人 49件）

《相談件数》

307件（うち外国人 60件）

3 外国人住民支援事業

① 多文化共生社会推進事業

＜自治体職員向け外国人支援のための防災講座・意見交換会＞

県内の自治体職員等を対象に、行政に求められる外国人のための防災や災害時における外国人支援等に関する講座を開催した。

開催日：8/7（金） 18名参加

場 所：JAAZMホール 研修室

＜外国人住民支援講座＞

自治体職員等を対象に、「やさしい日本語」の基礎知識や実際の活用法などに関する講座を開催した。

開催日：1/15（金） 17名参加

場 所：オンライン

＜外国住民のための防災セミナー＞

外国人留学生等を対象に、地震や津波についての講話のほか、起震車体験等を行い、災害時の知識とその対応について学ぶセミナーを開催した。

開催日：10/24（土） 24名参加

場 所：宮崎東諸県広域防災センター

＜外国人のための防災講座＞

外国人留学生等を対象に、日本における防災に関する知識や災害時の対処法等を学ぶセミナーを開催した。

開催日：2/20（土） 10名参加

場 所：オンライン

＜外国人災害サポートボランティア養成講座＞

災害時の外国人支援についての講義や多言語支援センターを立ち上げた際のシュミレーションを通じ、災害時に外国人を支援するために必要な知識や心構えを学ぶ講座を実施した。

開催日：2/13（土） 20名参加

場 所：オンライン

② 外国人住民等相談窓口運営事業

＜みやざき外国人サポートセンターの運営＞

外国人住民等からの生活・就労等に関する相談を対面又は電話、メール等で受け付け、適切な情報提供及び関係機関への取次ぎを行った。

受付時間：火曜日～土曜日 午前10：00～午後7：00

相談件数 341件

＜出張相談会＞

外国人住民等に対する出張相談会を開催し、窓口への来所が難しい外国人住民等に対面での相談対応を行った。

ア 日南市

日時：11/28（土）

場所：日南市生涯学習センター

相談：2件

イ 日向市

日時：12/12（土）

場所：日向市文化交流センター

相談：0件

ウ 都農町

日時：2/13（土）

場所：都農町中央公民館

相談：2件

エ 日向市美々津町

日時：2/28（日）

場所：美々津公民館

相談：5件

オ 延岡市

日時：3/17（水）

場所：延岡市コミュニティセンター

相談：0件

＜外国人住民法律・生活相談事業＞

- ・外国人住民の相談に母国語で対応できる相談員を配置

6カ国語で対応。

（英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、タガログ語、ベトナム語）

相談件数：6件

- ・法律生活相談の募集（弁護士・行政書士による相談対応）

相談件数：1件

<外国人住民等への情報提供>

- ・生活情報冊子 7,000部
(日本語1,000部、英語2,000部、中国語1,000部、韓国語1,000部、ベトナム語2,000部)
- ・防災パンフレット 1,000部 (ベトナム語)
- ・医療ハンドブック 1,000部 (ベトナム語)
- ・ホームページ、フェイスブックによる情報提供

<関係機関を交えた連絡会議>

開催日 10/30 (金) 26名

場 所 みやざき外国人サポートセンター 交流スペース (オンライン)

③ 地域日本語教育体制整備事業

i 日本語教育体制の構築

<総括コーディネーターの配置>

本事業の総括を行うコーディネーターを配置した。

(公財) 宮崎県国際交流協会 小原 幸恵

<地域日本語教育コーディネーターの配置>

地域や外国人の実態・特性を把握し、ニーズに応じた日本語教育プログラムの企画・調整を行う地域日本語教育コーディネーターを県内4地域(県北・県央・県南・県西)にそれぞれ配置した。配置状況は次のとおり。

県央：清水志穂、友重直美

県南：吉元愛美

県西：高柳香代、荒井圭美

県北：原田真理

市町村を対象としたアンケート調査を実施し、回答があった中から外国人住民が多い市町村を地域日本語教育コーディネーターが訪問しより詳細な意見等を聴取するとともに、日本語教室実施に向けた協力依頼、地域別意見交換会への参加要請等を行った。

<有識者>

当事業への助言等を行う有識者として、次の6名に委嘱。

伊藤 健一 (宮崎大学国際連携センター 准教授)

高柳 香代 (多文化共生ネット・九州 主宰)

大庭 みづほ (日本語教師)

日高 光子 (日本語教師)

田中 利砂子 (南九州短期大学国際教養学科講師)

山中 鉄斎 (宮崎情報ビジネス医療専門学校国際部 部長)

<総合調整会議等の開催>

・事業推進会議の開催

当事業の実施方針等の検討のため、宮崎県、有識者、総括コーディネーター、地域日本語教育コーディネーター、宮崎県国際交流協会で構成される会議を実施。

日 程：7/10（金）

場 所：カリーノ宮崎地下1階会議室

出席者：18名

・総合調整会議の開催

地域や外国人の実態・特性を踏まえた日本語教育の推進施策について協議を行う場として宮崎県、各市町村、有識者、総括コーディネーター、地域日本語教育コーディネーター、宮崎県国際交流協会で構成される会議を実施。事業の目的や進捗状況の説明のほか、今後の事業展開に関する意見交換等を行った。

【第1回】

日 程：10/30（金）

場 所：オンラインで開催

出席者：29名

【第2回】

日 程：2/10（金）

場 所：オンラインで開催

出席者：33名

<地域別意見交換会の開催>

地域における外国人の実態・特性や日本語教育のニーズの把握や当事業への市町村からの要望等の聞き取り、今後の当事業実施への理解・協力の要請等を目的に、県内4地域で意見交換会を実施した。出席者は市町村担当者、有識者、総括コーディネーター、地域日本語教育コーディネーター（地域ごとにそれぞれの担当者）、宮崎県国際交流協会。実施状況は次のとおり。

県央：2/25（木）

オンラインで開催

出席者14名

県南：12/23（水）

日南市 小村記念館

出席者9名

県北：2/4（木）

オンラインで開催

出席者9名

県西：2/25（木）

オンラインで開催

出席者12名

<日本語教育の先進地視察>

今後の日本語教育体制づくりの参考とするため、総括コーディネーター、地域日本語教育コーディネーター、宮崎県国際交流協会職員で、佐賀県鳥栖で行われているオンラインでの日本語教室をオンライン上で視察するとともに、電話にてヒアリング調査を行った。

日 程：1/17（日）、2/14（日）

視察先：佐賀県鳥栖市日本語教室「とりんす」

<日本語学習支援者向け講座> ※再掲 p3 1②

<日本語学習支援者のための講演会> ※再掲 p3 1②

ii 日本語教育の実施

<日本語講座の開催>

外国人のニーズを踏まえ時間帯を設定したうえで、習熟度にあわせた日本語講座を開催した。

ア 対面（テキストを使用した講座形式で実施）

○カリーノ宮崎地下1階（午前）

初級1（前期）：6/2～9/3 全25回 延べ74名参加

初級1（後期）：9/24～12/22 全25回 延べ168名参加

初級2：6/2～9/3 全25回 延べ91名参加

○宮崎総合学院

初級1：7/28～10/29 全25回 延べ51名参加

初級2：11/5～2/16 全25回 延べ131名参加

イ オンライン（それぞれ下記回数のほかオリエンテーションを1回実施）

初級1（県央地区対象・午前）：6/19～9/18 全25回 延べ136名参加

初級2（全県対象・午前）：9/25～12/22 全25回 延べ173名参加

初級1（全県対象・午前）：11/6～2/17 全25回 延べ47名参加

初級1（全県対象・夕方）：11/5～2/18 全25回 延べ48名参加

<地域日本語教室の開催>

地域コーディネーターが各地域の実情を把握した上で、平日あるいは週末、昼間あるいは夜間など時間帯の設定、習熟度に合わせてカリキュラムの作成を行い、地域や外国人のニーズを踏まえた日本語教室を開催した。

ア 県央地区

日 程：①2/13（土） ②2/21（日）

場 所：①都農町中央公民館 ②オンライン

参加者：①9名 ②8名

内 容：①ゴミの捨て方、スポーツの応援フレーズ等 ②防災情報等

※新富町、川南町でも実施予定であったが中止。

イ 県南地区

日 程：①11/28（土） ②12/19（土） ③2/20（土）

※1/23も実施予定であったが中止。

場 所：①・②日南市生涯学習センター まなびピア
③日南市小村記念館

参加者：①15名 ②8名 ③10名

内 容：①災害等 ②日本の正月等 ③数の数え方、質問の仕方等

ウ 県西地区

日 程：2/21（日） ※1/31も実施予定であったが中止。

場 所：三股町 co-making space

参加者：21名

内 容：自己紹介のしかた、方言等

エ 県北地区

日 程：①12/12（土） ②2/28（日）

※1/24も実施予定であったが中止。

場 所：①日向市文化交流センター ②日向市美々津公民館

参加者：①8名 ②17名

内 容：①防災、正月等 ②自己紹介のしかた、質問のしかた

<日本語れんしゅう会の開催>

県内で生活する外国人を対象とし、日本語ボランティアが各参加者（外国人住民）の日本語のレベルや希望する学習内容に応じ、マンツーマン方式での日本語の指導を行う。

開催場所：宮崎市 カリーノ宮崎地下1階会議室

開催日時：毎週水・金（10:30～11:30）

開催実績：67回、延べ365名参加。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため休止期間
（4/6～5/22、7/29～8/21、1/6～2/8）あり。

<オンライン学習の周知・啓発>

本事業による日本語教室等以外でも外国人住民が自ら学習できるよう、文化庁のオンライン教材「つながる ひろがる にほんごでのくらし」について、日本語教室におけるリーフレットの配布や動画の視聴、協会ホームページ上での広報等により周知・啓発を行った。

<日本語スピーチコンテストの開催>

県内で生活する外国人（留学生を含む。）が日本語学習の成果を確認するとともに、それを聞く全ての人たちに新たな視点を与え、違いを知る好機として相互理解を図ることを目的に、日本語のスピーチコンテストを開催した。

開催日時 11月21日（土）、カリーノ宮崎地下1階会議室にて実施。

発表者は9名。

4 国際化推進事業

① 国際化推進助成事業

国際交流団体の支援（補助団体 2団体、77千円）

- ・ 宮崎市国際交流協会 27千円
- ・ 一般社団法人 ガールスカウト宮崎県連盟 50千円

② 国際理解・開発教育支援事業

<県民向け国際理解講座>

ホストタウン登録国（イギリス・ドイツ・イタリア・カナダ）の生活・文化等を紹介する講座を開催し、県民のホストタウン登録国への理解、交流の推進を図った。

開催場所：イオンモール宮崎

日 時：12/6（日） 10:00～16:00

- ・イギリス編 188名
- ・ドイツ編 120名
- ・イタリア編 14名
- ・カナダ編 12名

<多文化共生アドバイザー派遣>

地域で開催する多文化共生社会づくり、異文化理解等を目的とした学習会に多文化共生アドバイザーを派遣した。

派遣数：14件

派遣先：幼稚園3件、小学校3件、中学校1件、高校4件、その他3件

（講座参加者数：計772名）

<国際理解教育（講座）支援>

- ・ワールドボックスの貸し出し（3件）
- ・国旗の貸し出し（6件）

5 その他

公益財団法人宮崎県国際交流協会の管理運営

- ・ 県委託事業管理
- ・ 宮崎ブラジル親善協会委託事業管理
- ・ 協会管理